

ものづくりマイスター認定申請に係る確認書(要提出)

認定申請職種(職種) 認定申請者名()

本確認書もものづくりマイスター認定申請書と併せてご提出ください。

該当する項目に○をつけてください。

1 申請する職種において技能検定の特級・1級・単一等級のいずれかの技能士となっているか

なっている (級)
なっていない

*技能士の場合は、合格証書の写しを A4 サイズに縮小のうえ添付してください。

2 職業訓練指導員免許を取得、または48時間講習を修了しているか

職業訓練指導員免許(科) を取得している
48時間講習修了(科) を修了している
なし

*職業訓練指導員免許所持者は免許証の写し、48時間講習修了者は修了証書の写しを A4 サイズに縮小のうえ添付してください。

*いずれもなしの場合は、認定を受けた後に、指導技法講習を受講していただきます。
(指導技法講習の日程については、認定後お知らせします。ものづくりマイスターとして活動が可能となるのは講習受講後からとなります。)

3 認定申請の要件として、以下の質問に回答をお願いします

(こちらの内容を元に振興コーナー確認項目欄にて使用します。)

項目	内容	○を付けてください。
生産性・品質向上	<p>次の全ての内容に該当するかご確認ください。</p> <p>(1) 工程管理(日程管理、進捗管理、現品管理)、作業管理(作業の標準化、作業の改善)、品質管理(品質管理の考え方、設備点検の方法)等に関して、一般的な知識を有し、指導を行うことができること。</p> <p>(2) 上記(1)の業務について 10 年以上の実務経験を有する者であること。</p> <p>(3) 特級技能士、高度熟練技能者、登録基幹技能士の資格を有する者又は上記 1 に相当する能力を有していると認められる者。</p>	<p>該当する</p> <p>該当しない</p>
人材育成方法の指導	<p>次の全ての内容に該当するかご確認ください。</p> <p>(1) 作業指導(教育訓練計画のたて方及び教育訓練の実施、改善提案、仕事の教え方、教育訓練の方法)等に関して、一般的な知識を有し、指導を行うことができること。</p> <p>(2) 上記(1)の業務について 10 年以上の実務経験を有する者であること。</p> <p>(3) 特級技能士、職業訓練指導員の資格を有する者又は上記(1)に相当する能力を有していると認められる者</p>	<p>該当する</p> <p>該当しない</p>
労働安全衛生法を含む労働環境の改善に向けた指導	<p>次の全ての内容に該当するかご確認ください。</p> <p>(1) 安全衛生管理について詳細な知識を有するとともに、環境の保全及び公害防止について、一般的な知識を有し、指導を行うことができること。</p> <p>(2) 上記(1)の業務について 10 年以上の実務経験を有する者であること。</p> <p>(3) 特級技能士、登録基幹技能士、職業訓練指導員、労働安全コンサルタント、労働衛生コンサルタントの資格を有する者又は上記(1)に相当する能力を有していると認められる者。</p>	<p>該当する</p> <p>該当しない</p>
IT を活用した生産性・品質向上に係る訓練の講師経験	<p>(1) 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施する生産性向上訓練において、IT を活用した生産性・品質向上に係る訓練の講師を勤めた経験を有する者。</p>	<p>該当する</p> <p>該当しない</p>
IT 技術を活用した工程管理等の改善の指導経験者	<p>(1) IT 技術を活用して、工程管理(日程管理、進捗管理、現品管理)、作業管理(作業の標準化、作業の改善)、品質管理(品質管理の考え方)、原価管理(原価管理の考え方)及び設備管理(設備管理の考え方、設備点検の方法)等の改善を行った実績を持ち、指導を行うことが可能と認められる者。</p>	<p>該当する</p> <p>該当しない</p>

《申請書記入上の注意》

特に下記の内容については具体的な記載が求められています。
記載不足があると認定時に確認があります。

様式第1号		データ登録番号【	
職種コード<1>関係 【コード:008 名称:機械加工】職種			
企業名、所属部署(役職)等	在職期間	行っていた業務・作業の具体的な内容	
〇〇株式会社 〇〇工場	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 50年～昭和63年	実務経験は、一つの職種について一段にまとめて書いてください。会社を替わった都度、部署を異動した都度に段を分けて書く必要はありません。	
中央製作所 〇〇部	平成1年～現在		
認定基準(2)	延べ実務経験年数 (40年)		この欄について業務の具体的な作業内容(簡潔でなく)となります。

(記入例 2/4 ページ H31)

様式第1号		データ登録番号【	
認定基準(3) / 意欲を持って活動する意思及び能力	得意とする指導内容 以下の順序で記入ください。(簡潔に記入 400文字以内) 「指導する職種」「対象となる機械/作業等」「指導内容/方法/目標到達度等」		
	【機械加工】の旋盤作業について、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
	【仕上げ】の〇〇について、〇〇〇〇〇〇〇〇		
	単に実技指導が行えるなどとするのではなく、認定を受ける職種別に、 ・具体的にどのような作業や工程について教えられるのかわかるよう書いてください。 また、得意とする指導内容なので、必ずしも技能検定の指導である必要はありません。		
	具体的に指導できる内容を作業名等入れて記載願います。		
主な技能指導の実績			
指導の目的・内容 (30文字以内)		期間	※対象者
基礎技能訓練課程(技能系2年目)の指導		1カ月	社員
自治体主催ものづくり体験教室における実演		2日	小学生
海外子会社機械加工従業員への普通旋盤作業の実技指導		2週間	子会社社員
実績は地域や学校などどの内容も記載してください。			
・その他の技能に関する国家検定 公的資格の名称及び分野(資格記号等)			

(記入例 3/4 ページ H31)